

第1回遠州灘海浜公園（篠原地区）利活用推進協議会

日 時	2025年1月28日（火）16:00-17:00
場 所	静岡県庁別館9階特別第一会議室
議 題	遠州灘海浜公園（篠原地区）利活用推進協議会（第1回）

1 開会

<事務局より開会のあいさつ、設置要綱の説明>

2 挨拶

<静岡県副知事 増井会長のあいさつ>

- この協議会では、鈴木知事の思いを受けて、遠州灘海浜公園（篠原地区）を含むまちづくりについて、静岡県と浜松市と民間が協力しながら検討を進めていきたいと考えている。本公園が県民の皆様に愛され、利用される施設となりますよう、委員から意見をいただきたい。（増井会長）

<浜松市副市長 長田副会長のあいさつ>

- 本地区に整備されるスポーツ施設と周辺地域が一体となったまちづくりにより、交流人口の拡大や県全体の発展につながると考えている。整備事業の進捗が図られるよう、建設的な議論をしたい。（長田副会長）

3 議事（1）これまでの経緯（資料1）

- 遠州灘海浜公園（篠原地区）については、基本構想の策定、環境影響予測調査、官民連携導入可能性調査を経て基本計画が公表されている。「みんなが楽しめる健康・スポーツ公園」を目指し、PFI事業による財政負担の軽減と民間ノウハウの活用を図りながら検討が進行中である。（事務局）
- 野球場の最低規模を1万3千人収容とした理由を伺いたい。（水口委員）
 - 浜松市営球場での高校野球大会の実績から内野席に6千席以上が必要であり、県内の同規模の野球場の収容人数が約1万3千人であることを考慮している。（事務局）
- 公園全体の概算事業費の想定、また、更新予定を伺いたい。（中村委員）
 - 公園全体の事業費は、メイン球場の概算事業費に、約145億円を加えた金額である。将来的には、物価上昇率などを考慮した最新の概算事業費を示したい。（事務局）
- 事業手法としてコンセッション方式を採用する可能性はあるか。（杉田委員）
 - 事前調査では、コンセッション方式が考えられる条件として、プロスポーツチームの存在や交通アクセスの整備が挙げられた。今後の民間事業者とのヒアリングに基づき、本地区の特性を踏まえ、改めて可能性を検討していきたい。（事務局）

3 議事（2）協議の方針（資料2）

- 県と市は公園基本計画を踏まえつつ民間ノウハウを最大限に取り入れ、集客・収益が見込まれる施設の導入可能性を含む、あらゆる可能性を検討する方針。（事務局）
- 資料にある「民間事業者の提案内容は機密事項として管理を徹底する」との記載について、具体的な管理方法を教えていただきたい。（工藤委員）

- 外部漏洩を防ぐために資料を扱う委託業者に管理を徹底させる。また、民間事業者の意向を確認し、協議会を非公開にするなどして情報を保護する。（事務局）

3 議事（3）県と市の役割分担等（資料3）

- メインの野球場を含む東側区域は県が主体となり整備し、用地調査・取得は県と市が協力し、費用負担は民間提案を踏まえ今後協議する。西側区域は市が主体となり整備し、費用負担は民間提案を踏まえて協議する。区域外のまちづくりや交通アクセスは、民間ヒアリング結果に戻付き構想を検討する。なお、協議会で合意した事項は県と市が最大限尊重する方針である。（事務局）
- 公園周辺まちづくりの具体的な整備方針について、浜松市が整備している道の駅の検討現状について教えていただきたい。（森本委員）
 - 国道1号篠原東交差点付近を中心に、道の駅の整備を計画しており、具体的な整備については、本協議会の内容も踏まえて検討する。官民連携手法のスキームを検討し、令和7年度末までに基本計画を策定したい。（工藤委員）
- 浜松市が計画している武道館移転の検討状況について教えていただきたい。（都築委員）
 - 武道館の移転先については、ToBiOの北側を含めて現在3案ある。本協議会の方向性を踏まえ、移転の可能性や時期を検討していきたい。（杉田委員）

3 議事（4）今後の進め方（資料4）

- 協議会では民間ノウハウを活用した公園の利活用構想や県・市の役割分担を議論しつつ、国の事業認可を取得して用地取得を進めていく予定。民間事業者からの提案を幅広く公募し、計画に反映させ、協議会を通じて意見交換を行う。（事務局）
- 遠州灘海浜公園での民間事業者の関心について、具体的な意見を伺いたい。（村松委員）
 - 民間事業者からは、学生合宿の誘致、アグリパークやモビリティ体験施設の設置、野球場の多目的利用、段階整備による早期事業効果と財政平準化など、多くの提案があった。さらにサウンディングを行い、その具体性と実現性を検討する。（事務局）
- 民間事業者提案等可能性調査の実施時期や期間、対象業種、想定する企業数について教えていただきたい。（濱田委員）
 - 調査は、来月開始予定で、Web対話やアンケートで実施する。具体的な期間は未定だが、PFI事業実績のある建設、設計、維持管理、ディベロッパー、マネジメント、イベント関連などの業種を対象に、約100社を想定している。（事務局）
- 協議会の次回開催と最終的な取りまとめの時期について伺いたい。（石坂委員）
 - 次回協議会の開催は未定。全体の取りまとめについても、期限を設けず、協議会の中で、丁寧に議論していきたい。（事務局）

4 その他

<事務局より、次回日程については改めて調整する旨連絡>

5 閉会

<事務局より閉会のあいさつ>

以上